

我ら桜陽人

FMおたる 編成制作部・技術スタッフ

高校63期 卒業 馬 場 優 ともみ

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうござい
ます。どんな3年間でしたか？

私は卒業してから約八年が経ちます。入学初日は自分のクラスに誰も知り合いかなく、人見知りの私は物凄く不安でしたが、勇気を出して声をかけたら実は私もこのクラスに知り合いがないという人ばかりで仲良くなつたのを感じています。

あまり詳しく覚えていませんが、高校時代はとにかく部活の毎日でした。ソフトボール部と茶道部を掛け持ちしており、大変でしたがそれがとても強く印象に残っています。

引退後、周りに行きたい大学や専門学校、就職を決める中、私も早く進路を考えなきやと思つてはいましたが、特に将来の夢が決まつていなかつた私はやりたいことやなりたいこともなく焦つていました。ただ、好きなことはあります。音楽を聴くことが好きで、お金を貯めてCDを買い、ライブにも足を運ぶようになりました。初めて高校の友人と行つたライブは今でも鮮明に思い出します。それが唯一好きなことだつたため、音楽関係に携わる仕事に就きたいと思い専門学校に入学しました。専門一年生の



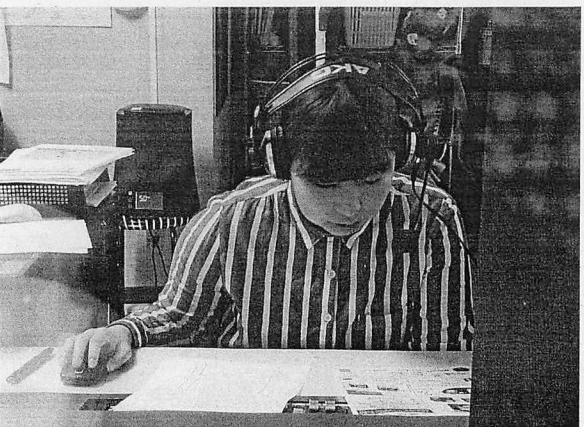
「私の所（近所）でも営業や焼き出しをしているので伝えてほしい」といった私達では気付けなかつた情報を教えていただきたり、リスナーさんからは200件以上のメッセージが届きました。本当に有り難かったです。

「ラジオから声や曲がかかると嬉しい」「曲を聴いて元気をもらつた」といったメッセージは逆に私達が元気をたくさん貰いました。そしてコミュニティFMの存在意義を改めて強く感じ

学生時代の経験や、好きだったものはこれから先どこかで役に立ちます。

高校時代、将来の夢も特に決まっていなく、やつてみたいことも定まっていなかつた私はが、当時音楽が好きだったのでそれに関するテレビやラジオ、雑誌をひたすら読みました。一緒にライブに行く友人めぐれ、そこで出会う人達もいました。それが今に活かされていればいいなと思っています。

私はこの先も色々なものに触れ、色々な人に会い、周りの人を大事にしていきたいと思います。



夢があれば夢に向かつて進んで行き、好きなことがあればそれをとことんやり、別に何もないでも私は良いと思っています。これからたくさん吸収して、周りの人を大事にして、ずっと楽しく過ごしてください。

この度はご卒業おめでとうござります。皆さんのこれからが最高に素晴らしい日々になりますように願つております。

後半から卒業までは、様々な現場に行つて学んだ方がいいと思い、学校で斡旋されるバイトをしつつ就職活動をし、FMおたるへ入社しました。

FMおたるは、地域密着のコミュニティ放送です。中学、高校はキー局（道内のFMラジオ、AMラジオ）をよく聴いていたので、当時はコミュニケーションFMという言葉自体初耳でした。技術スタッフで入り、現在は技術のほか制作・パーソナリティ・営業もしています。辛いことや悩むことも沢山ありますが、「ラジオ聴いているよ」という声を聞くたび、自分の作った音や声がちゃんと届いているんだなと嬉しい気持ちになりました頑張ろうとも思います。

昨年は特に強く実感しました。2018年9月6日、北海道胆振東部地震。道内全域でブロックアウトが発生した時です。コミュニティFMの使命は防災・災害放送です。入社してから小樽に住んで、初めての経験でした。地震発生から約15分後、スタッフ全員集合し、スタジオから非常電源を使用し「臨時災害放送」を開始し、地震概況・災害対策、小樽市役所からの情報を停電復旧まで伝えました。この間、いつ復旧するのか分からぬ不安の中、市民の方から非常電源に使うガソリンを提供していただきたり、

